



授業風景



公共施設見学

### やしお市民大学 卒業生から 寄せられた感想

- 新しい仲間もでき、楽しく勉強ができました。授業で知るたびに八潮市に愛着がわきました。
- たくさんの授業を受けているうちに、八潮市のことをもっと知りたくなりました。
- グループごとの活動で強い絆ができ、最後まで続けることができました。

	やしお市民大学 第12期生	やしお市民大学大学院 第8期生
期 間	5月～平成28年3月(2年間※学習日程で3分の2以上出席した場合に卒業を認定)	5月～平成27年3月(1年間※論文、研究発表を総合的に評価し、修了を認定)
	月3回主に土曜日・全60回 (1学年30回、2学年30回) 午後1時30分～4時30分	土曜日・全13回 午前9時30分～11時30分
場 所	やしお生涯学習館・八潮メセナなど	
対 象	市内在住・在勤で、年間を通じて学習できる方(中学生以下を除く)	やしお市民大学を卒業した方
内 容	〈1学年〉 八潮市の総合計画・商工業観光・リサイクル問題・歴史、スポーツ体験、副学長講話など 〈2学年〉 八潮市の財政・環境・消防、ボランティア活動・地域とコミュニティ、学長講話、自主研究など 〈1・2学年共通〉 学外研修、学生企画公開講座	指導者とのゼミ5回 自主研究5回 合同懇談会2回 研究発表会(公開)1回
定 員	30人(申し込み多数の場合は抽選)	15人(申し込み多数の場合は抽選)
費 用	1学年につき1万円	1万円
	4月2日から16日までに、振り込み(振込用紙はやしお市民大学運営事務局で配布)	
申し込み	4月16日までに、申込書(やしお市民大学運営事務局で配布)をやしお市民大学運営事務局(やしお生涯学習館内、受付=午前9時30分～午後4時30分、火・日曜日を除く)へ	

問 社会教育課 ☎365、やしお市民大学運営事務局 ☎951・0521

八潮のまちについて学びたい方を募集します。

# やしお市民大学大学院 学生募集

## 消防広域化重点地域に指定されました

2月5日、八潮市と草加市は埼玉県内初の「消防広域化重点地域」として県知事から指定を受けました。

消防広域化重点地域は、近年の災害の大規模化や市民の多様な要望に対応し、市民の生命、財産を守るため、より充実した消防体制の確立を目指すものです。

この指定を受けることで、国や県からの情報提供や広域化に伴い必要となる施設や設備の整備などの経費について、財政支援を重点的に受けることができます。

両市では、消防の現状と課題を検証しながら、広域化により得られる効果を生かした消防力の強化などについて検討を行っています。



草加市消防長 県消防防災課長 八潮市消防長

### 広域化により期待される効果

- (1) 災害発生時における初動体制の強化
- (2) 消防署所の配置や管轄区域の適正化による現場到着時間の短縮
- (3) 本部機能統合などの効率化による現場活動要員の強化
- (4) 救急業務や予防業務の高度化および専門化
- (5) 財政規模の拡大に伴う高度な資機材の計画的な配備

問 消防本部総務課 ☎996-0119

## 人権それは愛

### 「過ちを繰り返さないために ～災害時の思いやり～」

皆さんは知っているでしょうか。関東大震災から90年が過ぎていたことを。90年前の震災では、人々の思い込みや偏見による民族差別、職業差別、よそ者差別などからさまざまな差別事件が発生し、外国人などに対する虐殺があったと当時の新聞に記されています。

また、阪神・淡路大震災、新潟県中越沖地震、東日本大震災など大きな災害が起こるたびに、避難所での高齢者、障がいのある人など災害時要援護者や女性への配慮不足が問題となりました。さらに根拠のない思い込みや偏見から農水産物などへの風評被害や、避難者がホテルでの宿泊を拒否されたり、小学生が避難先の学校でいじめられたりする人権侵害も発生しています。

人はなぜ誤った認識や偏見により人を傷つけてしまうのでしょうか。また、災害時にはどのようなことに心を配ればよいのでしょうか。

私たちは同じ過ちを繰り返さないために歴史から学び、災害時には平時時以上にまわりの人を思いやり、行動することが求められます。

そのためにも、普段からさまざまな人権問題について関心を持ち、認識を深めておくことが必要なのです。

問 人権・男女共同参画課 ☎811、社会教育課 ☎365